

総括

2023年度を振り返って

1. 重点課題について

2023年度の重点課題であった「陽だまりクラブ」においては、運営環境が大きく改善した1年となりました。最大の成果は、2022年度末から東広島市と協議を進めてきた結果、介護保険法に規定される総合事業「訪問型サービスB（住民主体による日常生活支援）」が制度化され、2024年度から「陽だまりクラブ」が東広島市初の登録団体となったことです。これにより、年額150万円の補助金を受けられることが決定しました。

また、老朽化した福祉車両1台（軽自動車）を、助成金を活用して新車に入れ替えることができました。さらに、即戦力となる人材が仲間に加わったことで、欠員だった専従コーディネーターを補充することができました。これらの成果により、移動サービスの質の向上と、相談支援体制の安定化が実現できました。

2. その他の事業について

「放課後こどもくらぶ」および「コミュニティカフェ fun fan 陽だまり」は、多少の課題はあるものの安定して運営することができました。しかし、「訪問介護事業」の人材不足は、予想していた以上に深刻を極めました。当事業所のみならず、東広島市全域においてもヘルパー不足が顕著となっており、介護人材確保の難しさは、もはや国の構造的な課題と言えます。「訪問介護事業」の見通しが立たない状況です。

3. 組織基盤強化について

設立から24年経ち、当法人は中心メンバーの世代交代、不安定な財政基盤、重点事業の見直しといった組織課題に直面しています。そこで、持続可能な組織づくりのために、助成事業「Panasonic NPO/NGO サポートファンド」を活用し、内部・外部アンケート調査を主とした組織診断を行いました。その結果、組織の現在地を知り、重点課題と解決への方向性について気づきを得ることができました。また、外部関係者とのパートナーシップがより深まるなどの成果がありました。

4. 財政面について

2023年度当初は「陽だまりクラブ」において約327万円の赤字を見込んでいましたが、福祉車両を助成金で購入できたこと、専従コーディネーターの人件費が3か月のみであったことなどから、一転して約156万円の黒字となりました。法人全体としても、予定になかった多額の寄付収入があったため、2023年度は約30万円の赤字予算を約597万円の黒字決算で終えることができました。

事業報告

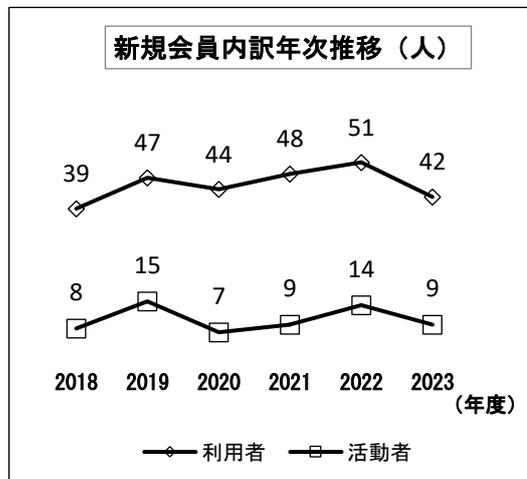
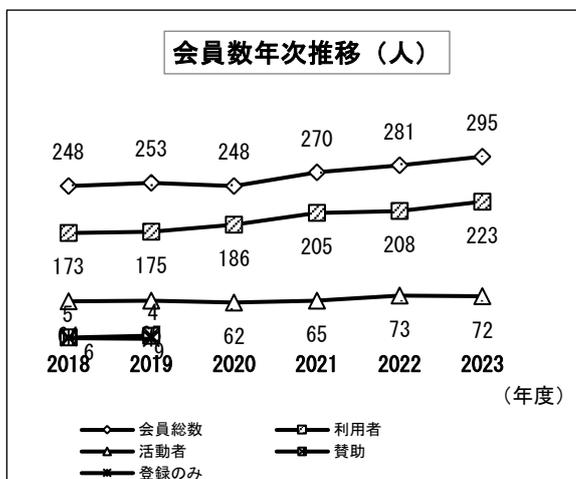
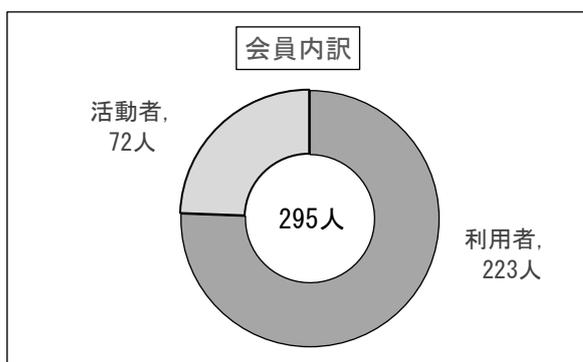
(1) たすけあい事業 陽だまりクラブ（収益事業）

① 目的

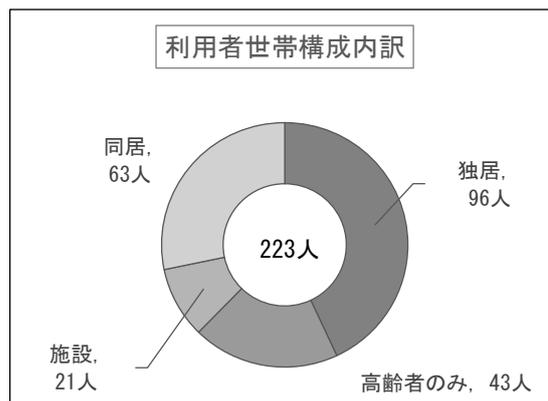
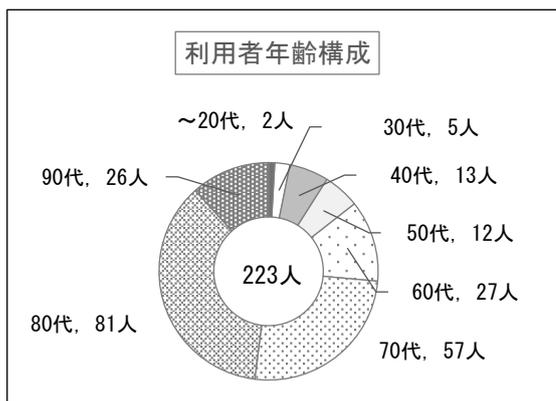
陽だまりクラブは会員制のたすけあい活動です。地域の人々がお互いに助け合うことを趣旨とし、家事や介護といった身の回りのことをはじめ、生活での困りごとをお手伝いします。

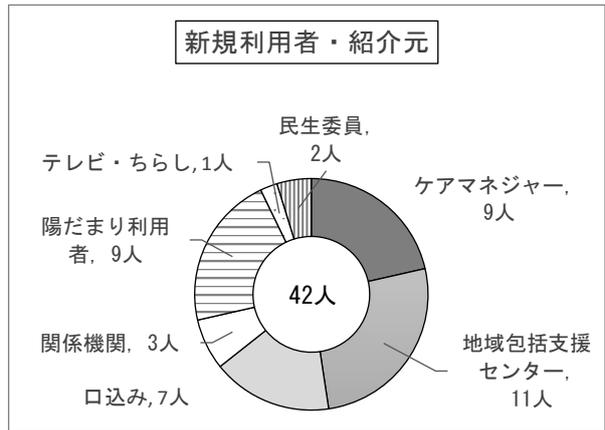
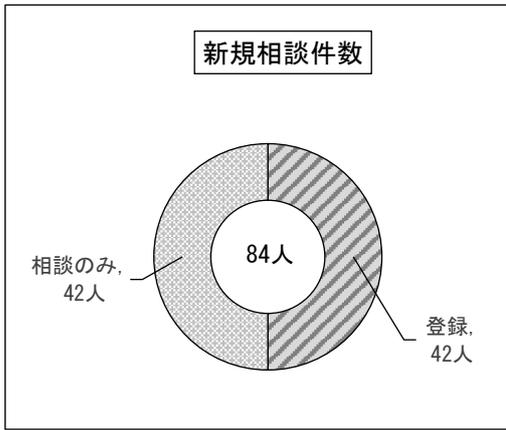
② 会員について

②-i 会員数



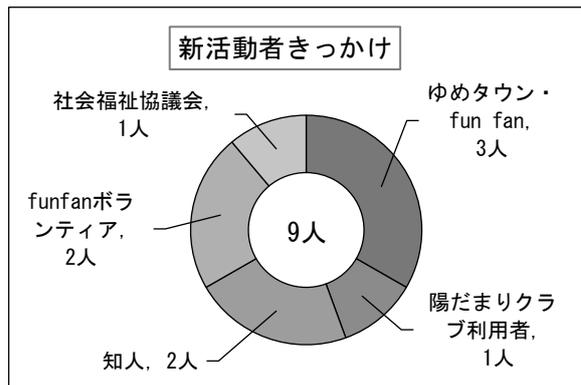
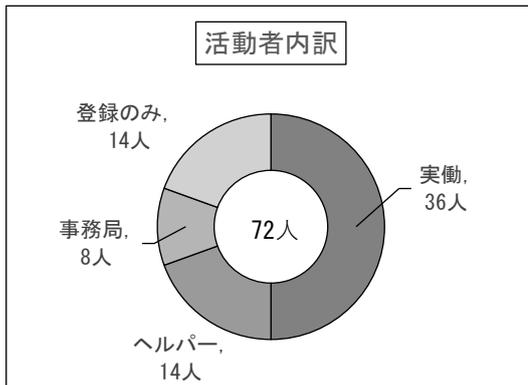
②-ii 利用者



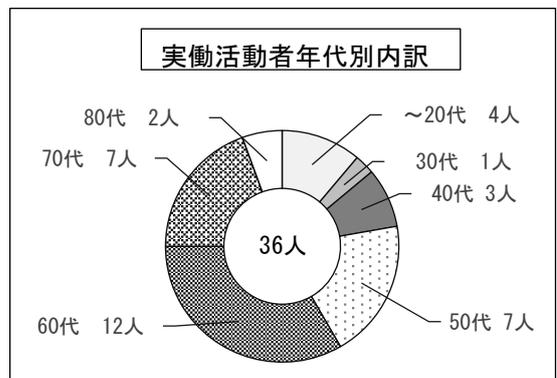
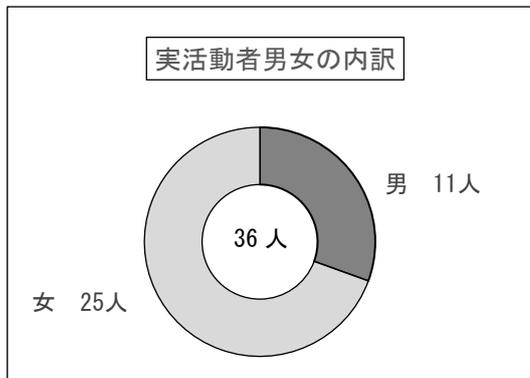


- 新規利用者 42 人のうち、移動サービスは 15 件と希望が多く、草取り・剪定・庭掃除も 9 件ありました。
- 施設入所者の外出制限が軽減され、外出が復活しました。高齢者では通院、障がい者では余暇活動や通院などの依頼がありました。

②-iii 活動者



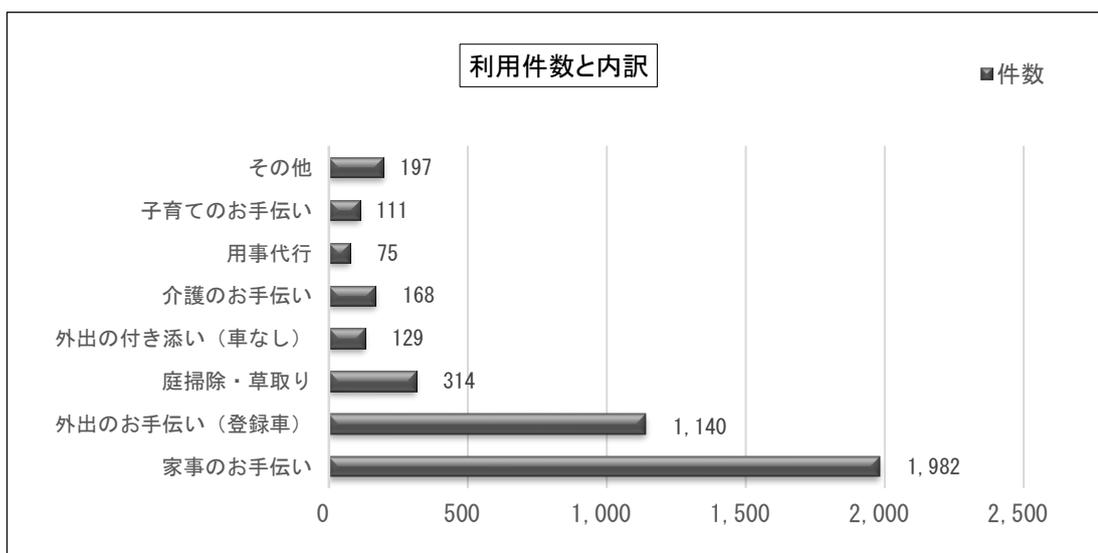
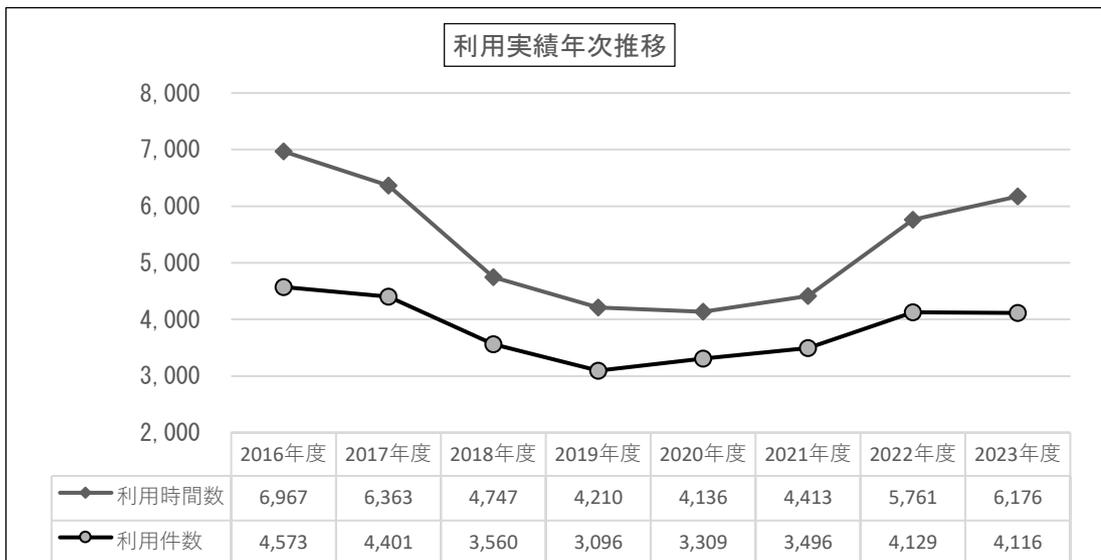
- 登録者のうち、実際に活動した会員は 36 人で、2022 年度実績 40 人の 90%でした。需要に対し不足気味の状態です。
- 新規活動者は 9 人で、うち 4 人が福祉職経験者でした。退会活動者は 7 人でした。
- 活動のきっかけでは、ゆめタウン東広島内『コミュニティカフェ fun fan 陽だまり』が最も多く、窓口を商業施設内に設置した効果が続いています。



- 実活動者のうち 60 代以上が 58%で最高齢は 87 歳でした。年々、活動者の高齢化が進んでいます。一方で、2023 年度は 40 代の活動者も増えました。

③ 実績報告

- 常勤1人（コミュニティカフェ fun fan 陽だまりと兼務）、非常勤1人で事業を実施しました。



[内容例]

- 家事のお手伝い…食事の支度、買い物、掃除、洗濯など
- 外出のお手伝い（登録車）…陽だまり号や活動者の車を使って外出
- 庭掃除・草取り…草取り、草刈り、剪定、野菜や花の植替え、落ち葉掃きなど
- 外出のお手伝い（公共交通機関）…電車、バス、タクシーを利用して外出
- 介護のお手伝い…見守り、話相手、トイレ介助、デイサービスの送り出しなど
- 用事代行…振込み、市役所での手続きなど
- 子育てのお手伝い…子守り、離乳食づくり、家事のお手伝い、産前産後のお手伝いなど
- その他…ペットの世話、入院中のお世話、散髪、地区の溝掃除、大掃除、ゴミ捨て、日曜大工など

- 2024年3月に利用のあった会員数は85人で、利用件数はのべ325件でした。1日あたり平均13件（日祝除く）、1回あたりの平均利用時間は1.5時間でした。

- 外出のお手伝い（登録車）の目的は、通院 67%、買い物 20%の順となっており、付き添い希望が大半でした。また、通院では受付や医師の話しを一緒に聞くなどのお手伝いが増えているのが特徴です。外出先は東広島市内が大半ですが、呉市・広島市の他、香川県高松市・鳥取県三朝町など県外もありました。

④ 研修報告

④-i 主催研修

	月日	内容	講師	受講生
1	6/3 6/4	「第1回福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習/セダン講習	・理学療法士 倉西達之氏 ・陽だまりスタッフ	受講者 12人 ・外部参加 10人 ・陽だまり2人
2	10/7 10/8	「第2回福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習/セダン講習	・理学療法士 倉西達之氏 ・陽だまりスタッフ	受講者 15人 ・外部参加 15人 ・陽だまり0人
3	3/10	「安全運転講習会」 ※補講は2024年4月13・24日に 実施・対象運転登録者5人	・日本自動車連盟広島支部 ・陽だまりスタッフ	受講者 25人 ・運転登録者 14人、活動者2人、ヘルパー9人

- 活動者への新人研修は随時行い、法人の理念・沿革、注意事項などを伝えました。

④-ii 社外研修

月日	内容	主催	場所	参加者
11/25	中国地区移動サービスネットワーク研修会	中国地区移動サービスネットワーク、島根県	島根県	宮本、市川、新川

(2) 訪問介護（営利事業）

① 目的

- 法人全体の事業を運営していくための収益事業です。
- 介護を必要とされる方々が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、また、介護をされているご家族の負担を軽減できるよう支援を行います。

② 実績報告

②-i 利用者実数

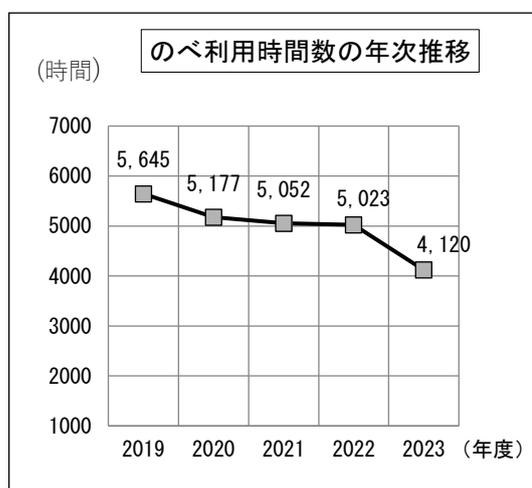
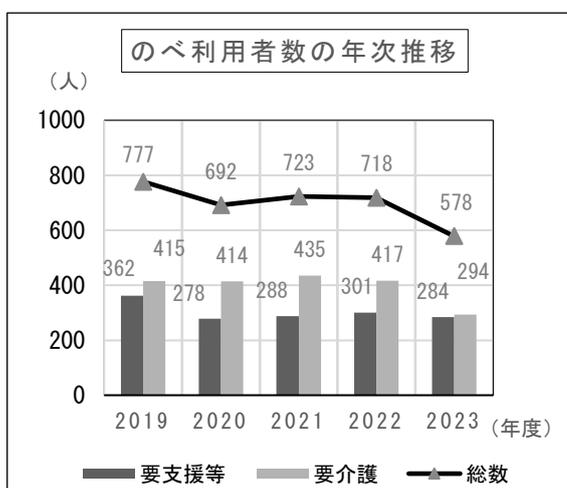
2024年3月31日現在

介護保険								障害者 総合 支援	計
事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
1人	14人	9人	17人	6人	1人	3人	0人	3人	54人

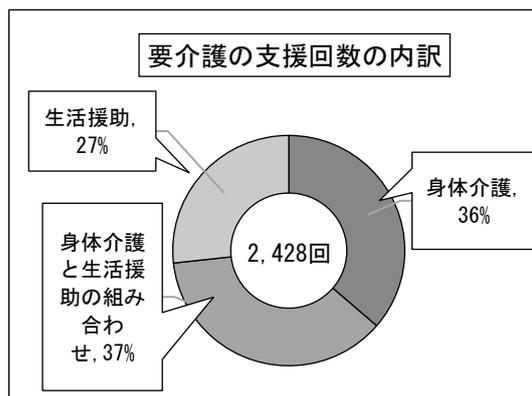
※注1) 事業対象者…要介護認定がなく、基本チェックリストに該当し、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問介護サービスを利用している方。

- 管理者（サービス提供責任者と兼務）1人、サービス提供責任者1人、登録ヘルパー10人で事業を実施しました。
- サービス提供責任者の常勤換算は1.5人です。

②-ii 介護保険

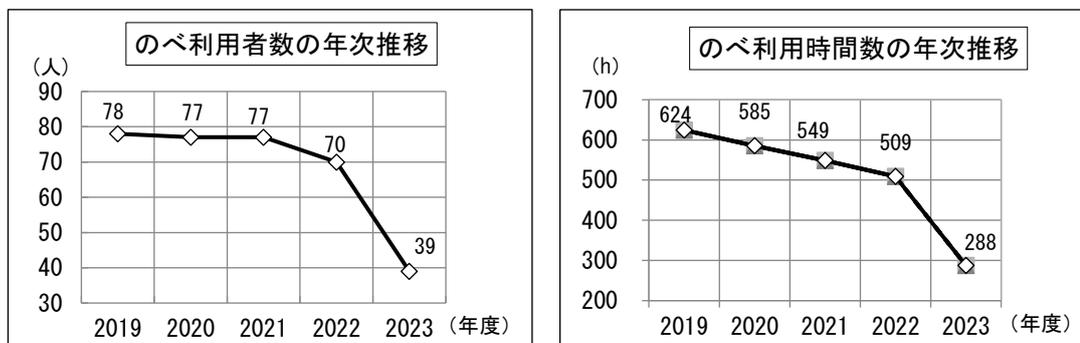


- ヘルパーの人員不足のため、2022年度と比べのべ利用者数は20%減、のべ利用時間数は18%減でした。
- 要介護の支援内容は、2022年度と比べ身体介護30%減、身体と生活の組み合わせ10%増、生活援助5%増、のべ回数は35%（1,340時間）減でした。



- 新規利用者はお断りしたケースは多数あり、可能な範囲で受けた相談件数は 15 件、うち契約 5 件、契約不成立 10 件でした。
- 契約終了は 14 件、内訳は入所 6 件、家族対応 1 件、死去 2 件、他事業所へ移行 5 件でした。他事業所への移行は、当事業所の人員不足が原因でした。

②- ii 障害者総合支援



- 2022 年と比べ 3 人減ったことから、利用者実数と利用時間数は 45%減少しました。

③ 研修報告

③- i 社内研修

	月 日	内 容	参加人数
1	4/20	訪問介護の倫理・法令遵守・プライバシー保護	12/12
2	5/18	法人理念・法令遵守・プライバシー保護	12/12
3	5/25	接遇事例検討・老計第 10 号記録について	12/12
4	6/15	感染症及びまん延防止事例検討	11/12
5	7/13	食中毒事例検討、嘔吐物処理と感染防止	11/12
6	7/20	災害について (ハザードマップ共有、連絡手段、必需品と備蓄食)	12/12
7	8/24	緊急時対応事例検討	11/12
8	9/14	介護事故とその後の対策を考える事例検討、全体カンファレンス	12/12
9	9/21	調理実習 (消化吸収を助ける・野菜を使い切る時短レシピ)	12/12
10	10/19	ヒヤリハット事例検討	11/12
11	11/9	看取り事例検討	12/12
12	11/16	介護技術：移乗介助 (広島県介護福祉士会)	11/12
13	12/14	認知症の方への介護技術伝達講習と事例検討	11/12
14	1/18	高齢者の権利擁護 (東広島市民講座)	11/11
15	1/25	障がい者の権利擁護伝達講習と事例検討	11/11
16	2/8	ハラスメント	11/11
17	3/7	クレーム処理と事例検討	12/12

- 研修後は個別カンファレンスの時間を設け、支援中の課題・不安の解消とサービスの提案・見直しに繋げました。

③- ii 社外研修

	月 日	内 容	主 催	参加 人数
1	5/26	がん患者との対話力 (WEB)	広島県健康福祉局健康づくり	1
2	6/8	現場で役立つ皮膚疾患のはなし：褥瘡ケア	地域連携室あざれあ	3
3	6/20	介護のコツを学ぶ研修	東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部会	3
4	6/21	なるほどなっとくセミナー：災害に備えて	地域活動支援センターときわ	1
5	6/23	看取りのプロセスと家族・遺族ケアについて (WEB)	広島県健康福祉局健康づくり	1
6	7/28	在宅緩和ケアの現状と介護職の役割 (WEB)	広島県健康福祉局健康づくり	1
7	8/20	災害に備える BCP 対策 (WEB)	LINWORKS	1
8	10/2	結核・感染症対策「防護具の着脱、吐物処理」 (WEB)	広島県西部東保健所	2
9	10/17	認知症の方への介護技術	公益財団法人介護労働安定センター	4
10	11/14	障害者虐待防止法・利用者支援	東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部会・SKH 東広島合同	1
11	12/20	障がいのある方の権利擁護について	地域活動支援センターときわ	1
12	2/2	アルツハイマー型認知症と薬物治療	広島中央認知症疾患医療センター	2
13	2/15	介護のコツを学ぶ研修「車いす操作・移乗方法」	東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部会	1
14	1/22～ 2/13	事業所のクレーム対応研修 (WEB)	広島県社協社会福祉研修センター	2
15	3/9	病と向き合う人の心に寄りそう	地域連携室あざれあ	1
16	3/16	令和 6 年度介護報酬改定	東広島市訪問介護事業連絡協議会	1

- ヘルパー全員が年 1 回以上参加し、上記中 6 回分を社内研修で伝達しました。

④ 社外活動

- 東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部会にサービス提供責任者が 7 回参加しました。部会では、ヘルパー掘り起こしのための広報活動として、一般向け介護技術の企画研修会 (年 2 回) やイベント企画を開催し、地元の黒瀬高校や専門学校では講師を担当しました。しかし、いずれも起爆剤にはならず、ヘルパー不足の解消は今後も困難と見受けられます。
- 東広島市社会福祉協議会企画福祉課から福祉体験授業の応援依頼があり、3 小学校でアイマスク体験授業を実施し、視覚障がい者の理解と介護職の魅力を伝えました。

(3) 放課後こどもくらぶ（非収益事業）

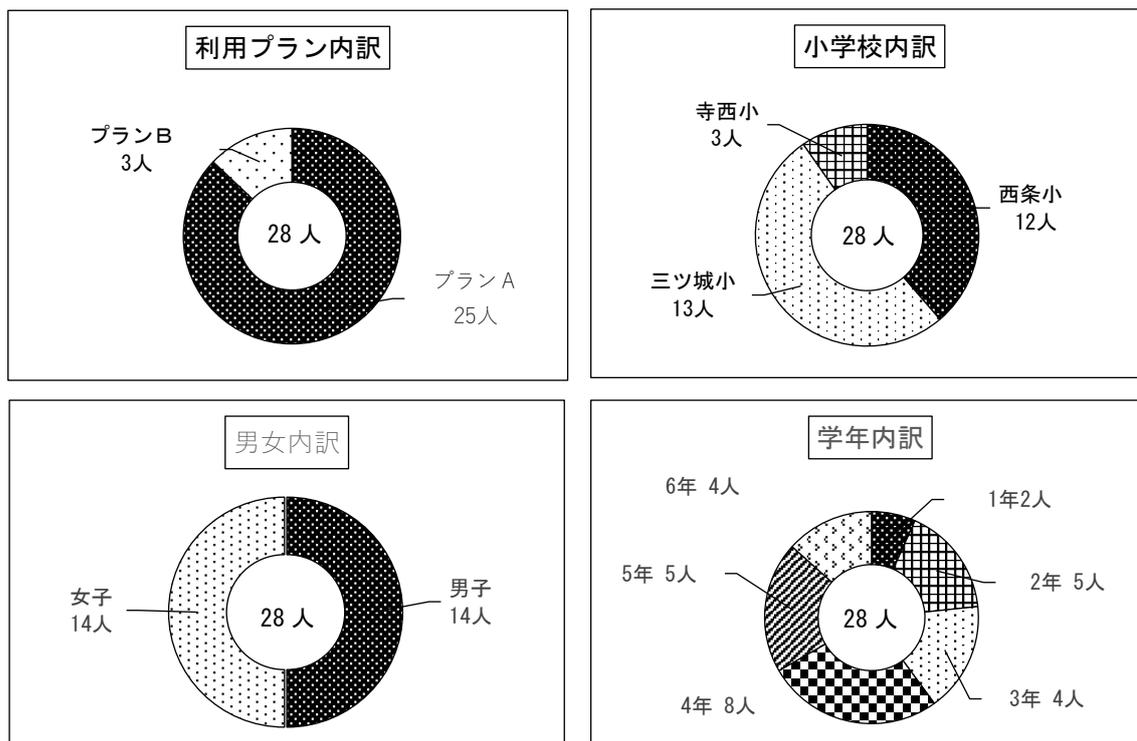
① 目的

- 「自分を大切にできる子を育てる」をモットーに 2013 年度、主に公立の学童保育を利用できない小学生を対象に開始し、2017 年度から東広島市の補助事業として運営しています。

② 実績報告

- 常勤 2 人、非常勤 12 人（内学生スタッフ 11 人）で事業を実施しました。

②-i 利用登録児童について



2024年3月31日現在

※ プランA（定員 25 人）…東広島市の利用要件を満たす児童、プランB（定員 3 人）…プランA 以外

- 特別な配慮を要する児童は自閉症スペクトラム 3 人、知的障害 1 人、注意欠陥多動障害 1 人でした。
- 年度途中の退会者は 5 年生 1 人（A プラン）と 3 年生 1 人（B プラン）の計 2 人でした。5 年生は保護者がいない時間も 1 人で過ごすことが出来るようになったため、3 年生は他県への転居が退会理由でした。

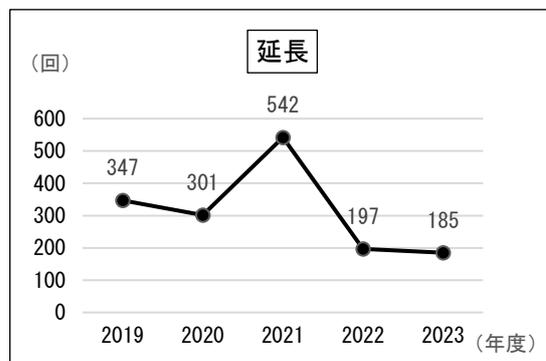
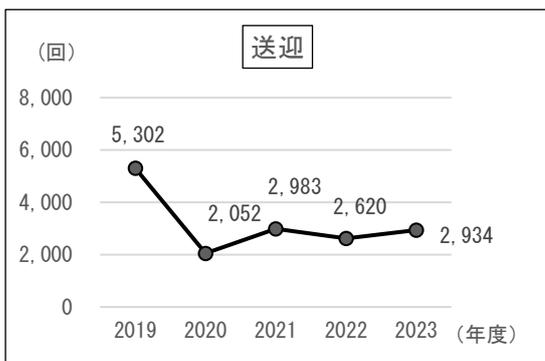
②-ii 一時利用 (人)

- 児童 9 人がのべ 52 回利用しました。
- 内訳は、待機児童 1 人（のべ 11 回利用）、平日利用登録児童 5 人（土曜日のべ 7 回利用）、その他 4 人（のべ 34 回）でした。

②-iii 相談・問い合わせ

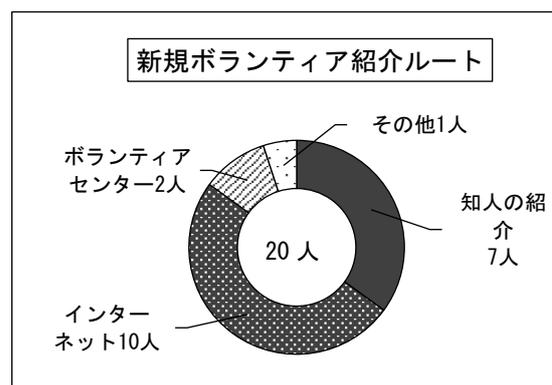
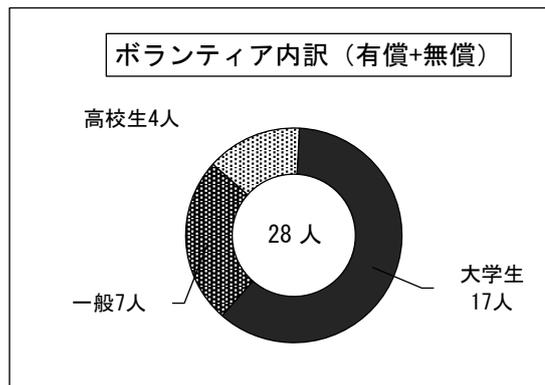
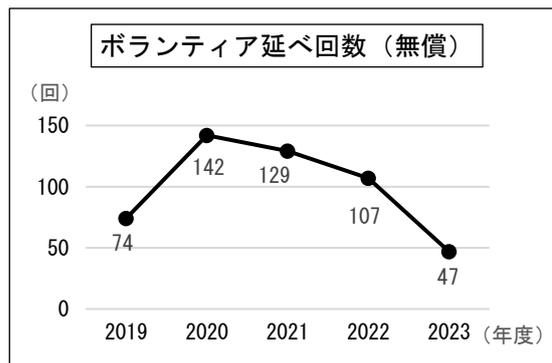
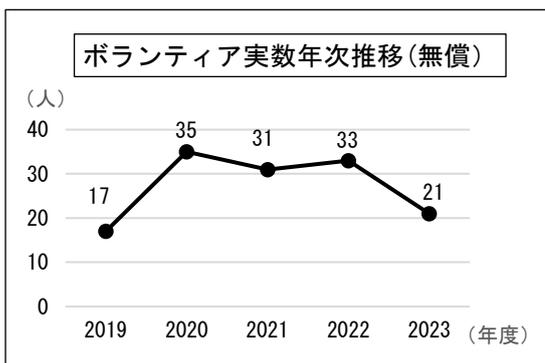
- 一般利用相談 6 件、夏休み利用相談 6 件、次年度利用相談 9 件でした。
- 2024 年度の申し込みは 8 人で、うち 5 人（1 年生 4 人と 3 年生 1 人）を受け入れました。2024 年 4 月末時点でのキャンセル待ちは 2 人です。

②-iv 送迎・延長利用



③ ボランティア

③-i 無償ボランティア

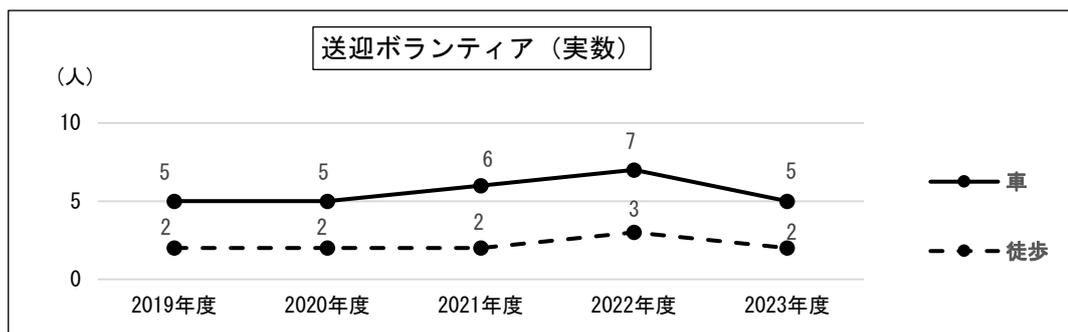


- 無償ボランティアの内容は、子どもとの遊び・宿題です。
- 新規ボランティアのうち学生が 19 人で、単位習得目的が 3 割でした。ボランティアからスタッフになった学生もおり、今後もボランティアの受け入れは継続していく予定です。

③-ii おやつボランティア(有償)

- 毎週金曜日、一人に担当してもらっています。

③-iii 送迎ボランティア（有償）



④ 体験活動

	月 日	内 容
1	4/5	お楽しみ会（べっぴんじゃけん）
2	4/28	五月飾り作り
3	5/2	かしわ餅づくり
4	6/16	梅ジュース作り
5	6/28～	笹飾り作りと短冊飾りの工作
6	7/20	アクアパック作り（工作）
7	8/29	夏祭り
8	9/22	おはぎづくり
9	10/10	芋ほり遠足
10	10/11	陽だまり運動会（陽だまりリンピック）
11	10/16	ミニライト作り
12	12/25	クリスマス会
13	12/26	お楽しみ会（べっぴんじゃけん）
14	12/27	手洗い講習
15	1/4	初詣遠足
16	1/5	正月遊び
17	2/3	節分豆まき
18	2/9	避難訓練（火災）
19	3/18	お彼岸クッキング（ぼたもち作り）
20	3/26	非常食クッキング
21	3/29	お別れ遠足（中央森林公園）

- 上記表の他、毎月の誕生日会で「駄菓子パーティ」を実施しました。
- 2・4・6・11番の工作と梅ジュース作りは、保護者からの提案企画で実施しました。

⑤ 保護者行事

	月 日	内 容	参加者
1	7/9	保護者交流会	1人
2	10/17~10/27	保護者面談	全員
3	12/3	見学会	3組

- 2023年度は11月開催予定だった親子交流会の参加者が少なく、開催できませんでした。2024年度は参加しやすいように開催日や内容を検討していきます。

⑥ 研修報告

⑥-i 社内研修

	月 日	内 容	非常勤 参加者数
1	5/16	こどもくらの理念・方針。自己点検チェックシート。こどもくらのルール確認。今後の行事確認。情報共有。	8人/11人
2	7/20	暴言についてと子どもとの関わり方について。熱中症対策について。今後の行事確認。子どもの情報共有。日々の情報共有ツール(LINEWORKS)について。	6人/10人
3	10/4	こどもくらの理念・方針。配慮を要する子への対応について。自己点検チェックシート。子どもとの関わり方について今後の目標を立てる。今後の行事確認。子どもの情報共有。	9人/10人
4	12/20	タブレットの使用について。育成支援について。今後の行事確認。子どもの情報共有。	8人/12人
5	3/7	2024年度利用児童について。今後の行事確認。	7人/12人

- 当日参加できなかったスタッフには後日改めて研修を行っています。

⑥-ii 社外研修

	月 日	内 容	参加者
1	1/13・1/27・2/10・2/17	放課後児童支援員認定資格研修	山口

(4) コミュニティカフェ fun fan 陽だまり (非収益事業)

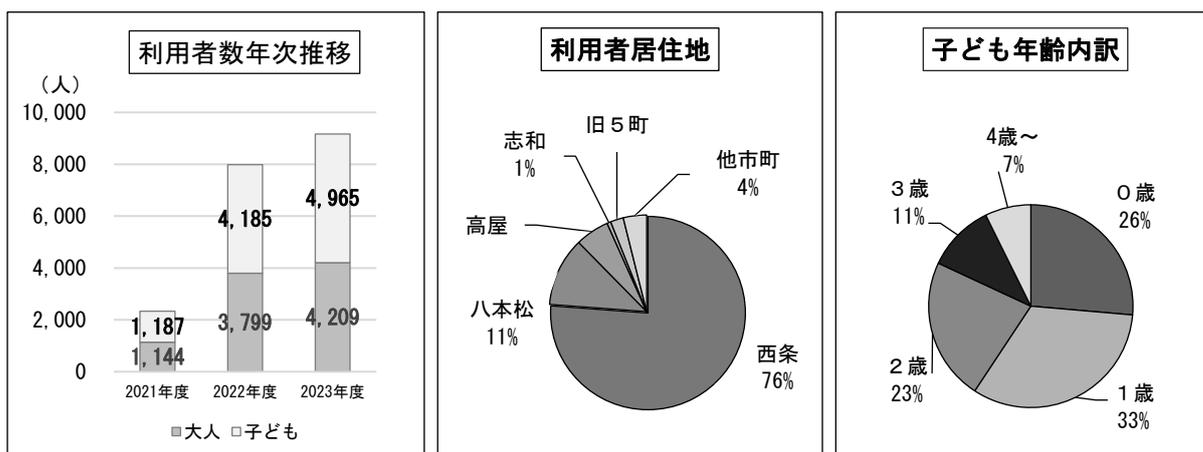
① 目的

- 未就学児の親子を対象とした子育てひろば事業を中核に、いろいろな人が出会いつながりを紡ぐ場所(地域共生)として2021年12月10日、ゆめタウン東広島内に開設しました。
- 子育てひろばは「東広島市地域子育て支援拠点事業」の補助事業として運営しています。
- 2022年12月15日から一時預かり事業を開始しました。

② 実績報告

- 2023年度末は常勤2人(うち1人は陽だまりクラブと兼務)、非常勤18人(保育士6人・子育て支援員研修修了2人・学生スタッフ6人・片付け要員3人)の人員で運営しました。
- 年間延べ来店者数は14,306人(ひろば9,174人、一時預かり558人、カフェ3,790人、地域共生イベント784人)でした。2022年度と比較し、2,025人増(116%)でした。

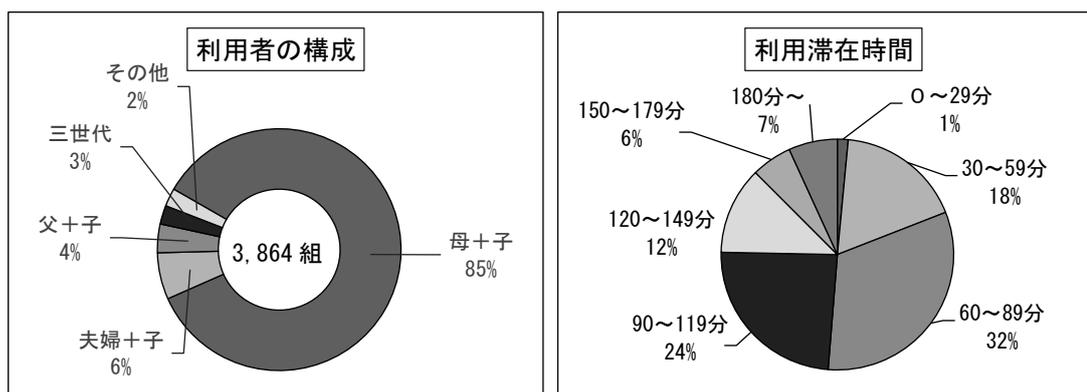
②-i 子育てひろば(火~土 / 10:00~16:00)



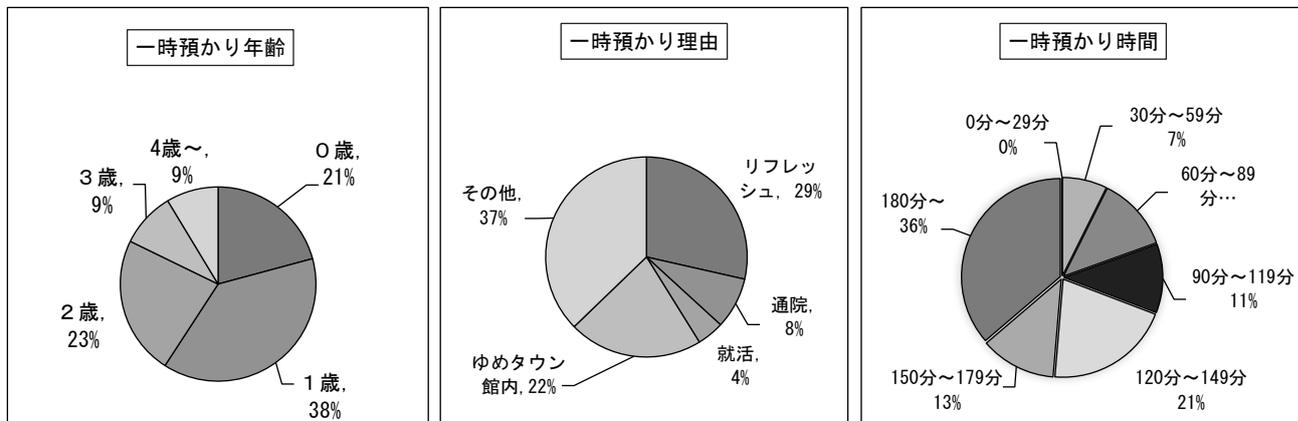
※ 2021年度は利用者数・利用組数共に12月10日~3月31日

※ 居住地について 旧5町・河内町・福富町・豊栄町・黒瀬町・安芸津町

- 2023年度の年間利用組数は3,865組、1日平均利用組数15.7組、リピート率87%でした。
- 2023年度の新規登録は531組でした。
- 平日は0歳~2歳児が大半ですが、学校休業日は4歳~小学校低学年の利用が増えます。

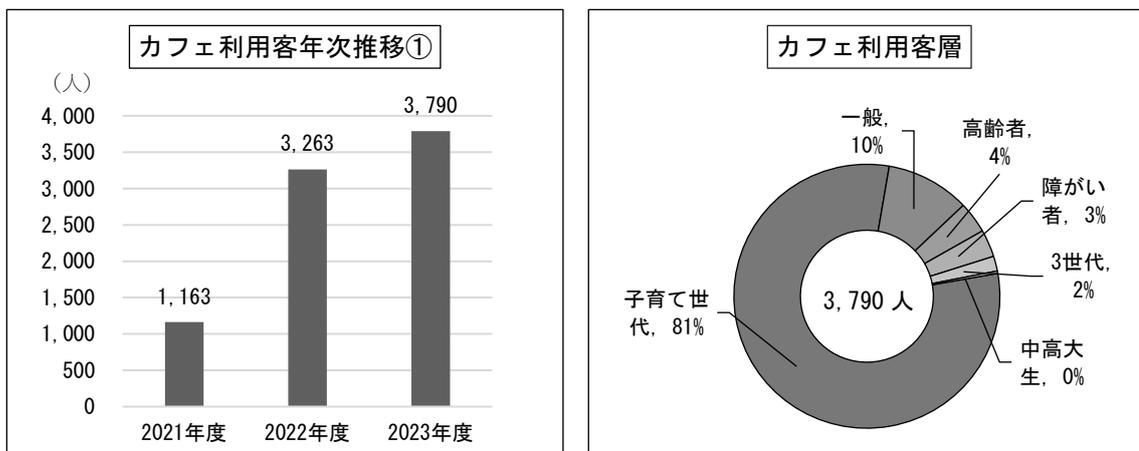


- 土曜日の利用は父子が29%と母子の次に多く、オープン当初からの傾向が続いています。
- 利用者の過半数が1.5時間以上滞在しました。この傾向もオープン当初から続いています。
- 外国人親子の利用も多数ありました。(シリア・インドネシア・アメリカ・ベトナム・台湾など)



- 一時預かり事業は、保育者と子ども1対1の体制で実施しました。
- 延べ預かり児童数は558人で、一日平均2.3人、リピート率75%でした。
- 預かり理由の「その他」は、仕事、引っ越し、用事、家族の緊急入院、お見舞い等でした。

②-ii カフェ（火～日/10:00～19:00）



※ひろば利用者を除く。2021年度は12月10日～3月31日

- 16時以降の利用は1日平均4組でした。利用人数は少ないですが、他の施設が空いていないため利用しにくる方が大半で、親子の居場所になっています。
- 日曜日では、夫婦+子どもの利用が多く見られます。学校や幼稚園の他、他施設が休みのためと思われます。

- 東広島市内の障がい者就労支援施設で作られた食品を販売しました。

施設名	販売物
(社福)平成会 あおぞらぱん屋さん	パン、パウンドケーキ、シフォンケーキ等
(社福)つつじ 多機能型事業所ウイング	クッキー
就労継続支援B型事業所エミリプラス	ドリップコーヒー・焼き芋

- ひろば利用者4人と地域の作家さん5人のハンドメイド作品を展示販売しました。

- ドリンクメニューとしてコーヒー、紅茶、ルイボスティ、アップルジュース、アイスティー、麦茶を販売しました。

②-iii イベント

(ア) 子育てひろば

【地域の専門家・子育てサークル・ボランティア】

内 容		協 力	回数	参加組数
1	足育おはなし会	こどもみるひと ふくだ (PT)	1	5
2	お金の教室	ファイナンシャルプランナー	3	7
3	栄養相談会	江崎グリコ (栄養士)	9	50
4	おやこで国際交流	大学生、ひろば利用者	3	22
5	じょさんスタイム	柳谷助産院	12	44
6	様々な疾患や障害を持つお友だち集まれ	Ha-re-ru (子育てサークル)	4	50
7	絵本の紹介・手遊び・読み聞かせ	つながる絵本のわ	4	26
8	子どもとすうがくの出会い	ひろば利用者 (中学教師)	6	36
9	気になるお金の相談会	独立系ファイナンシャルプランナー	4	37
10	パパママのからだ相談会	AWAVE (PT・ヨガインストラクター)	8	33
11	インターナショナルデイ	ひろば利用者	8	51
12	いつも頑張るママのお喋り会	ひろば利用者 (心理カウンセラー)	1	10
13	ひとりおやのおしゃべり会	ひろば利用者	1	3
14	お楽しみ会	べっぴんじゃけんサークル	1	10
合計			65	384

【fun fan スタッフ】

内 容		回 数	参加組数
1	七夕フォト撮影会	1	32
2	バランスボール	4	12
3	お誕生日会	12	47
4	ゆるミック	1	5
5	妊婦さんの交流会	1	4
6	離乳食おしゃべり会	1	4
7	ホッと一息つきませんか?	2	11
8	県外出身パパ&ママさん集まれ	1	8
10	ひなまつりフォト	2	54
合計		25	177

【共催イベント】

	内 容	共 催	回数	参加組数
1	ハイハイレース・とことこレース	ゆめタウン東広島、県央助産師会	1	42
2	学校のことを話そう！！	たぶんかひろば pazuru	1	17
合計			2	59

(イ) 地域共生（交流）イベント

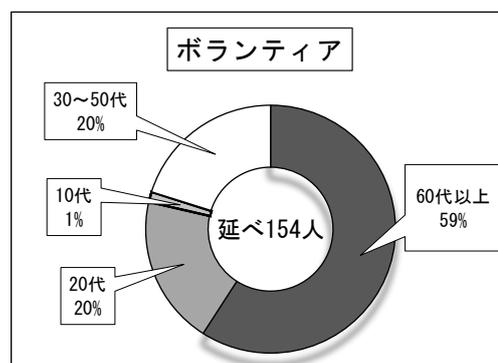
	内 容	協 力	回数	参加人数
1	百歳体操	ボランティア	53	359
2	プチ整体	陽だまりクラブ活動者	12	272
3	母の日にお菓子ブーケを作ろう	ボランティア	1	10
4	父の日に足形しおりを作ろう	ボランティア	1	13
5	陽だまりサロン	べっぴんじゃけん	2	36
6	fun fan 夏祭り	ボランティア・ひろば利用者	1	33
7	ハロウィン	広島国際大学・渡辺ゼミ生	1	19
8	新聞ちぎり絵	陽だまりクラブ活動者	12	42
計			83	784

※ 一部は「積水ハウスマッチングプログラムの会」の助成金を活用して実施

■ 2022 年度より企画内容や協力者、共催などが増えました。

②-iv ボランティア

- 延べ人数は、2022 年度の 34 人減でした。
- 60 代以上は、陽だまりクラブ活動者と百歳体操の参加者でした。20 代は大学生で、単位取得目的が大半でした。10 代は小学生親子でした。
- 広島国際大学の大学生が、ゼミ活動の一環でハロウィンイベントの運営を担ってくれました。



②-v レンタルスペース

- 2023 年度は 10 組の利用がありました。利用内容は、外国人親子のお誕生日会、保育園の役員会、ママ友同士の交流会などでした。

※ レンタルスペースは 2024 年 5 月 25 日をもって終了しました。

③ 研修

- 月 1 回社内研修を開催し、事業目標・業務内容・利用者情報などの共有を行いました。
- 広島国際大学の西村いづみ准教授が、ボランティアで講義や助言を行ってくださいました。

(計 8 回)

(5) 地域活動

① 光の宴

	月日	内 容	参加者	会場
1	9/30	「バルーンアート」ブース手伝い	7人（うち5人学生）	三ツ城古墳公園

- こどもクラブの学生スタッフも参加し、地域の方と交流を図る機会となりました。

(6) 広報活動

① 陽だまり通信

- 予定通り 65号（7月）、66号（12月）、67号（3月）を発行し、利用者・関係機関・寄付者に配布した他、三ツ城地区で回覧しました。

② メディアへの出演・記事掲載

	期 日	メディア	内 容	備 考
1	12/7	中国新聞	高齢者らの家事支援 ～ドイツ財団寄付～	記事
2	1/11	プレスネット	寄付 ベバストジャパンが福祉支援	記事
3	3/10	中国新聞	「日本式」学校文化を知って ～fun fan～	記事

(7) その他の活動

① マネジメント力の強化

	月 日	内 容	協 力
1	1～8月	助成事業「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」～組織診断～	松村 渉氏(NPO法人ひろしまNPOセンター・プロジェクトマネジャー)

- 内部・外部アンケート調査を実施し、組織の強みと課題を明確にしました。

② 講師派遣

	月 日	内 容	主 催	講 師
1	2/4	福山市「高齢者おでかけ支援事業運転者講習会	福山市	市川 新川（同行）

③ 視察受け入れ

月 日	視察元	担 当	備 考
10/13	高知県四万十町 19人 (副町長以下町職員6人+住民代表者13人)	宮本、市川 石井	同席：東広島市議会 議員・重森氏

④ まちづくり・協働・ネットワークへの取り組み

④-i 委員・理事等への就任

	会議名	役職名	担当
1	東広島市福祉有償運送等運営協議会	委員	宮本
2	NPO 法人全国移動サービスネットワーク	理事	宮本

④-ii 広島県移動サービスネットワーク

月・日	内容	共催	場所	参加者
1/25	「地域における移動サービスの 創出・展開」 ※共同募金配分事業	広島県	広島市東区民センター	一般参加 141 人 ・宮本、市川、 石井、新川

※ 広島県移動サービスネットワーク（会長：宮本理事、事務局：NPO 法人陽だまり）

- 2024 年度から当面の間は、広島県単独で市町対象の勉強会を開催することとなりました。広島県移動サービスネットワークは、活動方針を再考する予定です。

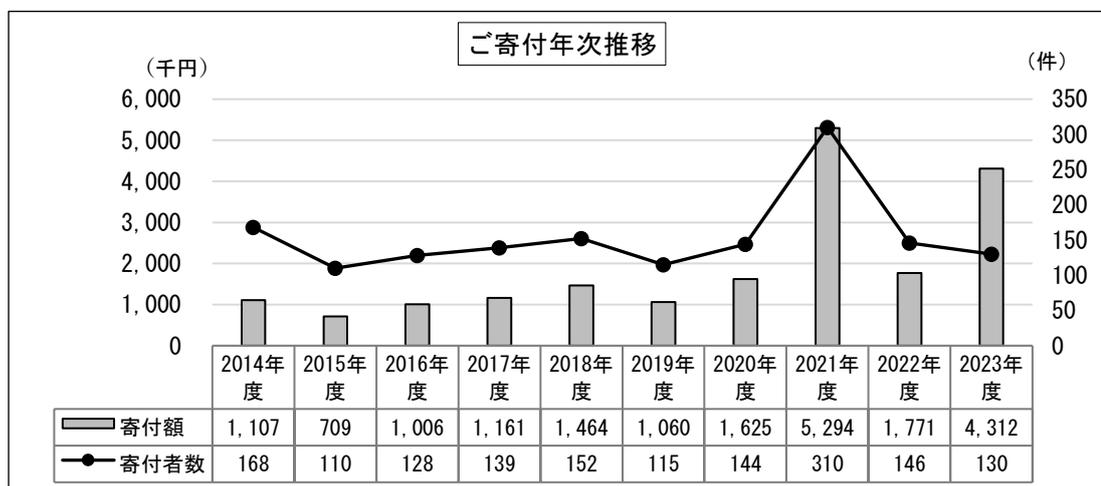
⑤ 寄付

	内容	寄付団体等	金額
1	寄付	個人 計 128 件	1,086,846 円
2	寄付	ベバスト財団	2,264,220 円
3	寄付	NPO 法人ユニバーサルデザイン推進協会	961,905 円
合計			4,312,971 円

- PST※注2) にカウントできる寄付者は 116 人で、認定 NPO 法人の要件を達成することができました。

※注2) PST（パブリック・サポート・テスト）…実績判定期間の各事業年度中の寄付金額の総額が 3,000 円以上である寄付者の数が、年平均 100 人以上であることを求める基準。

- 2023 年度は東広島市社会福祉協議会からの推薦で、ベバスト財団様より多額の寄付がりましたが、個人での寄付額は減少しています。



⑤ 協賛金・助成金など

	内 容	寄 付 団 体 等	対 象 事 業 等	金 額
1	助成金	積水ハウスマッチングプログラムの会	fun fan 陽だまり	700,000 円
2	助成金	公益財団法人合人社財団	福祉車両購入費用	1,798,000 円
3	助成金	公益財団法人さわやか福祉財団	移動サービス	150,000 円
4	食材	合同会社ひとむすび「フードバンク東広島」	こどもくらぶ	

- 2023 年度は公益財団法人合人社財団様の助成金で福祉車両を購入する事ができ、車いす利用者が安楽に移動できるようになりました。

⑥ その他の支援

		内 容	取 組 み 内 容
1	デジタル人材 (IT 支援 3 人)	定期ミーティング (1 回/2 ヶ月、7 月～)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Drive への移行 ・ LINWORKS (非営利団体向けプラン) への移行 ・ 事業ごとの課題

※ 月 15,000 円の 1 年契約

- 2021～2022 年に受けていた「デジタル基盤強化プログラム (NPO 法人日本 NPO センター)」による IT 支援が終了したため、2023 年度は同じ IT 専門家 3 人と直接契約を結び、引き続き支援を受けました。